

アンケート報告書について

今回実施した5種類のアンケートの回収率は、表の通りです。AとBは、子ども・子育て支援事業計画の関連調査、CとDは、子どもの貧困対策推進計画の関連調査、Eは、子ども・若者育成支援計画の関連調査です。Eは、ひきこもりなど、若者問題をWEBのみで回答する内容であり、他のアンケートより回収率が低い状況です。

アンケートの種類

	対象	配布数	回収数	回収率
A	就学前児童保護者	1,000票	531票	53.1%
B	小学生保護者	1,000票	502票	50.2%
C	小5・中2本人調査	1,600票	1,493票	93.3%
D	小5・中2保護者調査	1,600票	870票	54.4%
E	高校生～34歳の若者	2,500票	380票	15.2%

10月8日のアンケート報告書では、AとBを第1編に、CとDを第2編に載せています。Eは10月21日会議用に別冊の報告書としていますが、第3編とする予定です。

AとBは、共通の設問が多いため、一括で分析しており、幼稚園・保育所・認定こども園などの利用状況や希望（P36～39）、地域子育て支援センターなどのサービスの利用状況や希望（P40～57）、子育てについて意識（P58～74）などをたずねています。また、AとBは、5年ごとに類似の調査を実施しており、P2～16で前回調査との比較を行っています。

CはP85からで、P90～92にはヤングケアラーの状況を掲載しています。また、CとDはセットで調査しており、Dの調査で判別した生活困難世帯に該当する小中学生本人の状況に関するクロス集計をP154～156に掲載しています。

「こども計画」では、こどもたち自身の声を施策に反映することが求められており、Cの調査はその役割もあります。

DはP118からで、P134の世帯収入の設問などの回答結果をもとに生活困難世帯の状況を分類し、P156～160で生活の状況や支援ニーズに関するクロス集計を掲載しています。

Eは別冊P18～23にひきこもりの状況を、別冊P27～29にヤングケアラーの状況を掲載しています。

なお、それぞれの調査票の巻末には自由意見欄を設けており、報告書においても、その内容を掲載しています。